

2015年3月23日

報道関係各位

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ

日本イーライリリー株式会社

EL15-13

「第11回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」

「当事者部門」「支援者部門」で、1個人3団体を表彰

～当事者同士の交流や、家族による福祉の枠を超えた活動を評価～

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ(事務局:千葉県市川市、以下「コンボ」)は、2015年3月20日(金)、ベルサール八重洲(東京都)にて、「第11回精神障害者自立支援活動賞(通称:リリー賞)ーひとりひとりの輝くあしたへー」の表彰式を開催し、「当事者部門」と「支援者部門」の2部門あわせて1個人3団体の受賞者に対し、盾と副賞を授与いたしました。

【受賞者、プレゼンター 松本ハウスさん、選考委員、協賛社による記念撮影】



「第11回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」受賞者

＜当事者部門＞ 副賞 100万円

大阪府 榎野 綾 さん うつ病と闘いながら音楽療法による精神障害者支援と音楽活動を両立させるオペラ歌手
オペラ歌手として活躍しながら、音楽療法の重要性を認識し、当事者との交流活動を行っている点が評価されました。

京都府 いこいの場ほっとハウス 双極性障害などの当事者による精神障害者が集える場の運営、培った信頼関係で
緊急入院時支援も実施

精神障害者が地域で安心して暮らしていくための活動を当事者自ら創り出し、継続してきたことが評価されました。

＜支援者部門＞ 副賞 50万円

東京都 NPO 法人 多摩草むらの会 福祉の枠を超えた経営センスと多角的な事業展開で、
精神障害者の自立生活を支援

経営的な視点を持ち、地域に即した精神保健福祉活動の充実をはかってきた点が評価されました。

兵庫県 NPO 法人 こころ・あんしん Light こころの不調を抱える子どもの家族・当事者・支援者による
思春期精神保健福祉教材づくりと啓発活動

周囲の理解を得ながら学校生活を送れるように、啓発や支援の活動を続けてきたことが評価されました。

■リリー賞に関するお問合せ:

NPO 法人地域精神保健福祉機構(コンボ)・リリー賞事務局
TEL:047-320-3870/FAX:047-320-3871

■受賞者へのご取材に関するお問合せ:

広報代理店 株式会社
TEL:03-3261-7715/FAX:03-3261-7174 担当:佐野、黒崎

第 11 回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞) 受賞者プロフィールおよび受賞理由

【当事者部門】 榎野 綾 (まきの あや) さん <大阪府大阪市>

オペラ歌手として世界各地でリサイタルを開催するなど国際的に活躍していた榎野綾さん。しかし、活動拠点としたアメリカでうつ病を発症。日本に帰国し、うつ病との闘いを続け、シングルマザーとしても奮闘しながら、現在は障害福祉サービス事業所において音楽療法による精神障害者支援を行っている。関西二期会オペラ公演でメインキャストを演じるなどオペラ歌手としても第一線で活躍しながら、精神科領域における音楽療法の重要性を認識し、当事者とコンサートを行うなど地域で交流活動を行っている点が評価された。



【当事者部門】 いこいの場ほっとハウス <京都府宇治市>

1992年4月、双極性障害などの当事者4名が集い、町なかで精神障害者が安心して過ごせるいこいの場を開設。フリースペースに、毎日20~30名の利用者が大家族のように集い、思い思いの時間を過ごしている。利用者の体調が悪い時には訪問や弁当配達、緊急入院時には診察への付き添いなどのピアサポートや、病院への情報提供、病院間の橋渡し等の調整を行い、利用者が適切な医療を受けられるよう活動している。日々の生活の中で直面するニーズに敏感に対応して、精神障害者が地域で安心して暮らしていくための活動を当事者自ら創り出し、23年にわたり継続してきたことが高く評価された。



【支援者部門】 NPO 法人 多摩草むらの会 <東京都多摩市>

1997年、同じデイケアに通う精神障害者の家族会として発足。グループホームの設立を皮切りに、レストラン、農園、弁当の製造販売など多角的に事業を展開し、精神障害者に就労機会や生活の場を提供。現在では、約360名の当事者をサポートする都内最大規模の精神障害者支援活動となっている。2014年には大型商業施設内のレストラン街に出店するなど、精神障害者が福祉の枠を超えて社会とつながり、地域で安心して自立生活ができるよう活動している。経営的な視点を持ち、事業に収益性を求めながら、地域に即した精神保健福祉活動の充実をはかってきた点が高く評価された。



【支援者部門】 NPO 法人 こころ・あんしん Light <兵庫県尼崎市>

こころの不調、病気を抱える就学期の子どもの家族会および支援者会として活動。家族同士の集い、学校や地域社会の理解を得るための啓発活動などを行っている。会員は約70名。各地からの電話やメールでの相談にも対応している。家族、当事者、教育関係者、精神保健福祉領域の専門職とともに、3年がかりで教材づくりを行うなど、こころの不調や病気になった子どもたちが、周囲の理解を得ながら学校生活を送れるように、啓発や支援の活動を続けてきたことが評価された。



<「第 11 回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」応募・選考 について>

「精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」は、精神障害者の社会参加や自立に向け尽力し、地域社会において意欲的に活動に取り組む方々の独自の優れた活動を社会へ広く紹介することにより、統合失調症をはじめとした精神疾患への正しい理解を得る機会となることを目的に、2004 年に設立した支援制度です。

- 主催 特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構(コンボ)
- 協賛 日本イーライリリー株式会社
- 募集期間 2014 年 9 月 1 日～12 月 31 日
- 応募件数 当事者部門 53 件 / 支援者部門 39 件
- 選考 選考は、「当事者部門」については①当事者を主体とした取り組みであること、②独自性、③社会・医療・保健福祉へのインパクト、「支援者部門」については①独自性、②社会・医療・保健福祉へのインパクト、③将来性の 3 点をそれぞれ主な選考基準として、以下 9 名の選考委員により 2015 年 1 月 31 日(土)に行われました。

【選考委員】(敬称略)

- 高橋清久 (公益財団法人精神・神経科学振興財団理事長)
- 佐藤光源 (東北大学名誉教授/こだまホスピタル特別顧問)
- 中村純 (産業医科大学教授)
- 寺谷隆子 (社会福祉法人 JHC 板橋会理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
- 執行泉 (第 10 回リリー賞受賞者)
- 藤野英明 (コンボ理事/横須賀市議会議員)
- 大島巖 (コンボ代表理事/日本社会事業大学学長)
- 伊藤順一郎 (コンボ共同代表/国立精神・神経医療研究センター部長)
- 宇田川健 (コンボ共同代表)

コンボでは、困難な環境や状況を乗り越え活動している当事者を表彰する本賞を通じて、より多くの方々統合失調症をはじめとする精神疾患への正しい理解を深め、当事者にとってより良い環境整備及び充実の一助となるよう願うとともに、今後も様々な活動に尽力してまいります。

協賛の日本イーライリリー株式会社は、革新的な医薬品の開発・提供に加え、患者さん・ご家族への情報提供や支援、精神疾患の一般への理解促進などを通じ、患者さんのリカバリーへの貢献をめざします。

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ(Community Mental Health & Welfare Bonding Organization)について

「精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会の仕組みづくり」を目的とし、平成 19 年 2 月に設立した NPO 法人です。「当事者の視点」を活動の主眼に据え、当事者、家族および専門職を対象とした情報提供や、ACT・家族心理教育・就労支援など科学的根拠にもとづくプログラムの実践および普及活動、そして、地域精神保健福祉の発展に資する活動などを主に行っています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリーは、イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、本年設立 40 周年を迎えます。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬、高コレステロール血症などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はホームページをご覧ください。<https://www.lilly.co.jp/>